

太陽光発電で ひまわりが光る

おひさまの力感じて

太陽の力を乳幼児に感じてもらうと、伏見区清水町の第二あけぼの保育園が、太陽光発電システム「おひさま発電所」をこのほど導入した。発電するとひまわりの表示盤が光る仕組みもあり、園児たちの視覚に訴

表示盤は、縦約五十センチ、横約七十センチで、玄関に設置された。快晴になると、五本のひまわりの花びらが光る。同園では毎朝、何本のひまわりが点灯していたか園児に質問しており、関心を持つ子どもが最近増えて

伏見の保育園、システム導入

環境教育を実践

えかけている。

園児の環境教育の一環として、太陽熱温水器や雨水タンクと合わせ、発電パネル約四十枚(約四十平方メートル)を二階屋根に取り付けた。昨年十二月に点灯式を行った。

きているという。

矢島里美園長は「送り迎えをする保護者が、興味を示している。システムの導入で、環境活動を実践できる施設となったので、環境を学ぶ地域の研修会も行いたい」と話している。



太陽光発電で花びら部分が光る表示盤を見つめる園児ら(伏見区・第二あけぼの保育園)